

C言語講座2015 第2回

ループ(while文,for文),分岐(if文,switch文)



はじめに演算子を確認！

* 代入演算子

代入演算子	コード	意味(等価コード)
=	b=a;	aをbに代入
+=	b+=a;	b=b+a;
-=	b-=a;	b=b-a;
=	b=a;	b=b*a;
/=	b/=a;	b=b/a;
%=	b%=a;	b=b%a;

* 単項演算子

単項演算子	コード	意味(等価コード)
-	b=-a;	b=(-1)*a;
++	++b; b++;	b=b+1;
--	--b; b--;	b=b-1;

* 比較演算子

比較演算子(コード)	意味
a==b	aとbは等しい
a!=b	aはbと等しくない
a<b	aはbより小さい
a<=b	aはb以下
a>b	aはbより大きい
a>=b	aはb以上

演算結果が真なら1, 偽なら0 (例) $5 < 4$ ならば 0

* 論理演算子

比較演算子	意味
!	否定
&&	かつ
	または

演算結果が真なら1, 偽なら0

(例)

x=10のとき

a=(2<=x)&&(x<=9) 1&&0 → 0

※「2<x<9」という書き方はNG！

xが何であれ「2<x」は0か1。(0か1)<9は必ず1になる。つまり、常に1になる！

ループ構文

* while文

while文の構造

```
while(条件式){
```

命令文

```
}
```

条件式が真のときwhile文の中の命令を繰り返す。



(例)

```
#include <stdio.h>
```

```
int main(){
```

```
    int i=1,sum=0;
```

```
    while(i <=100){
```

```
        sum+=i;
```

```
        i++;
```

```
}
```

```
    printf("%d\n",sum);
```

```
}
```

// iとsumを定義&初期化

// xが100以下の間ループ

//sum=sum+iと同じ。sumにiを加える

// iに1足す

//1から100までの和を出力

* do while文

do while文の構造

do{

命令文

} while(条件式); //セミコロン注意

(例) 先の例のmain文の中は...

```
int i=1,sum=0;  
do{  
    sum+=i;  
    i++;  
} while(i<=100);  
printf("%d\n",sum);
```

となる。

[while文とdo while文の違い]

while文 : 前判定(次のループを行うか)
do while文 : 後判定(今のループを続けるか)

* for文

for文の構造

```
for(初期化式;条件式;更新式){
```

命令文

```
}
```

初期化式を実行し、条件式が真の間更新式(カウンタ)に従ってループする。



(例)

```
#include <stdio.h>  
int main(){  
    int i,sum;
```

for(**i=1,sum=0;i<=100;i++**) {

sum+=i;

}

printf("1から100までの和は¥"%d¥"¥n",sum);

}

初期状態は**i=1,sum=0**。
1周目sumに+iする。(命令文)
ループしたら**iに+1**して2周目に突入。
同じくsumに+iする。(命令文)
これを*i*が100になるまで繰り返す。。

*i*が100以下の間回る

「"」を表示するときは
「¥"」と書く

ここで！！

<練習問題(^.^)/①>

int型変数a,bに値を読み込み(前回の復習), for文を使ってaからbまでの和を求めるプログラムを作りましょう！

例えばa=3,b=10としたら,

実行結果は

「a= 3
b= 1 0

3と10はscanfで読み込む

3から10までの和は“52”です。」

(青字を%dで出してみましょう！前回の復習！)

となるようにしてみて下さい。

<練習問題(^.^)/①> の解答例

```
#include <stdio.h>
```

```
int main(){
```

```
    int a,b,i,sum;
```

```
    printf("a=");
```

```
    scanf("%d",&a);
```

```
    printf("b=");
```

```
    scanf("%d",&b);
```

```
    for(i=a,sum=0;i<=b;i++){ // i,sumの初期化, iがb以下の間ループさせる
```

```
        sum+=i; // sumの初期値を0にしたのはこういうこと
```

```
}
```

```
    printf("%dから%dまでの和は¥"%d¥"¥n",a,b,sum);
```

```
}
```



分岐構文

* if文

if文の構造

```
if(条件式 1 ){
    命令文 1          //条件式 1 が真のとき実行
} else if(条件式 2 ){
    命令文 2          //条件式 1 が偽かつ条件式 2 が真のとき実行
}
.....
else{
    命令文          //上の条件のいずれにも当てはまらないとき実行
}
```

(例)

```
#include <stdio.h>
int main(){
    printf("a=");
    scanf("%d",&a);           //aの値を読み込む

    if(a%3==0){               //3で割った余りが0なら3の倍数
        printf("%dは3の倍数です。¥n",a);
    }else
        printf("%dは3の倍数ではありません。¥n",a);
}
```

* switch文

switch文の構造

```
switch(変数){  
    case 定数式 1:  
        命令文 1  
        break;  
    case 定数式 2:  
        命令文 2  
        break;  
    . . . . .  
    default:  
        命令文  
}
```

break文はfor,while,do,switch文
中で、ループを抜け出す役割

上の定数式以外

defaultは省略可

(例)

```
#include <stdio.h>
```

```
int main(){
    int a;
    printf("a=");
    scanf("%d",&a);

    switch(a){
        case 100: // 「;」ではなく「:」！注意！
            printf("変数は100¥n");
            break; // 「break;」を忘れずに！

        case 50:
            printf("変数は50¥n");
            break;

        default:
            printf("その他¥n");
    }
}
```



おまけ 1

* continue文

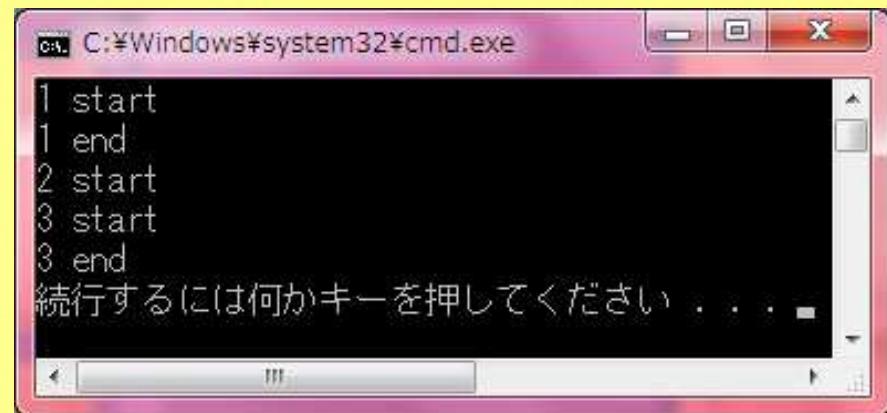
ループの処理のうち、その回の処理をパスする

(例)

```
#include <stdio.h>

int main(){
    int n;
    for(n=1;n<=3;n++){
        printf("%d start\n",n);
        if(n==2) continue;
        printf("%d end\n",n);
    }
}
```

[実行結果]



The screenshot shows a Windows command prompt window titled 'cmd' with the path 'C:\Windows\system32\cmd.exe'. The window displays the following output:

```
C:\> 1 start
1 end
2 start
3 start
3 end
続行するには何かキーを押してください . . .
```

The output shows that the loop iterates three times. In each iteration, it prints 'start' and then checks if 'n' is 2. Since it is not, it continues to the next iteration. Therefore, the output only shows 'start' for the first two iterations and 'end' for the third iteration.

「2 end」の処理がパスされている。

おまけ2

* 亂数の取得(先取り！)

乱数を出す関数(これを書くと乱数は返してくれる)

- rand()
- srand()

(例)

```
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
int main(){
    int x, i;
    for(i = 0; i < 10; i++){
        x = rand() % 6 + 1;
        printf("出た目は = %d\n", x);
    }
}
```

randを使
うのに
必須!!

など

rand()とは0から定数RAND_MAXまでの値を返す関数。
その数値を6で割った時の余りである0～5を出現させ+1することによって1～6の値を出現させた。

しかし、これでは同じ実行結果しかでない…

そこで！！

```
#include<stdio.h>
#include<stdlib.h>
#include<time.h>
```

time関数を使うのに必須!!

//追加部分

```
int main() {
    int x, i;
    srand((unsigned)time(NULL));
    for(i = 0; i < 10; i++){
        x = rand() % 6 + 1;
        printf("出た目は = %d\n",x);
    }
}
```

srandはrandの初期設定をするようなもの

//追加部分

こうするとsrandには常に違った数値が渡されることになる。

それではラスト！<練習問題②(・ω・)?>

あるテストのスコアを乱数で出し(斬新だけど)、
そのスコアに対して、

0～29点, 30～49点, 50～69点,

70～89点, 90～100点

の5段階で評価してみましょう！

評価の仕方は自分の好きなようにやってみま
しょう！また評価する前にスコアがいくつな
かをprintfで書いておきましょう！

ヒント：評価のところはif文！



<練習問題②(・ω・)?>の解答例

```
#include<stdio.h>
#include <stdlib.h>
#include <time.h>

int main(){
    int x;
    srand((unsigned)time(NULL));
    x = rand() % 100 + 1;
    printf("今回のあなたの点数は%d点¥n",x);
    printf("これはこれは...¥n");

    if(90<=x && x<=100){
        printf("チョーラッキー!!¥n");
    }else if(70<=x){
        printf("すごいぞ！おめでとう！¥n");
    }else if(50<=x){
        printf("まずますですな。¥n");
    }else if(30<=x){
        printf("残念な結果です...¥n");
    }else
        printf("なんて日だつ！！！¥n");
}
```



今日はこれでおしまいです！
お疲れ様でした！！

